Panasonic

ASTERIA Warp導入事例

複雑化する SaaS環境のデータ連携 6つのユースケース

Panasonic

SaaS連携で解決するデータと業務効率化の課題

クラウドサービスの普及により、企業のIT環境は急速に多様化し、
複数のSaaSを組み合わせて業務を最適化するケースが増えています。
しかし、サービス間のデータ連携は容易ではなく、二重入力や情報分断による非効率が課題となる状況です。

本資料では、実際の企業事例をもとに、複雑化するSaaS環境でどのようにデータ連携を実現し、
業務改善につなげたのかを具体的にご紹介します。

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

目次

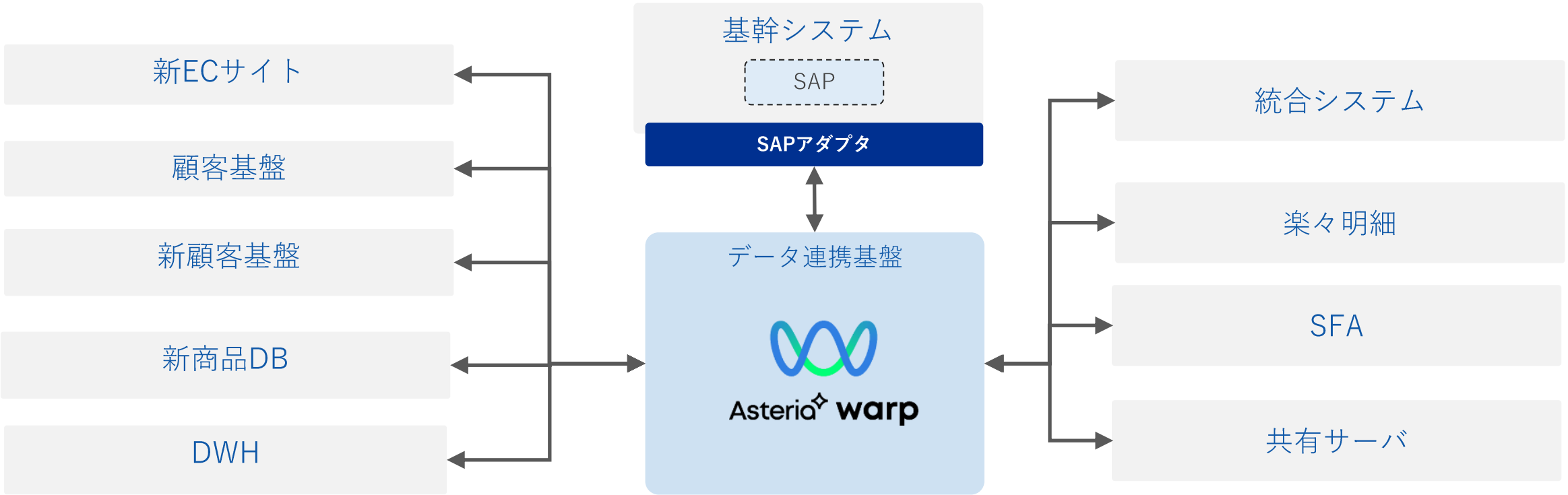
1. 複数クラウドサービスとの連携環境を短期間で構築
2. 複数SaaS環境でも連携を一元管理し、安定稼働とコスト削減
3. 複雑化するシステム環境を突破するSaaS連携のスピード導入
4. システム連携で実現する業務効率化と入力ミス削減
5. ERPリプレイスに代わり、SaaS連携で業務効率化を実現
6. ツールを活用したSaaS連携で開発工数を30％削減

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

1. 複数クラウドサービスとの連携環境を短期間で構築

新規SAP導入に伴い、旧システムとの機能整理と複数クラウドサービスとの短期間連携が課題となりました。データ連携ツールを活用し、SAPと周辺システムを統合することで、複雑化した環境でも迅速かつ安定したデータ連携を実現しました。

業種	建設業（中堅）
連携システム	SAP、DWH、SFA、楽々明細
課題	基幹システムリプレイスにあたり、並行稼働が必要



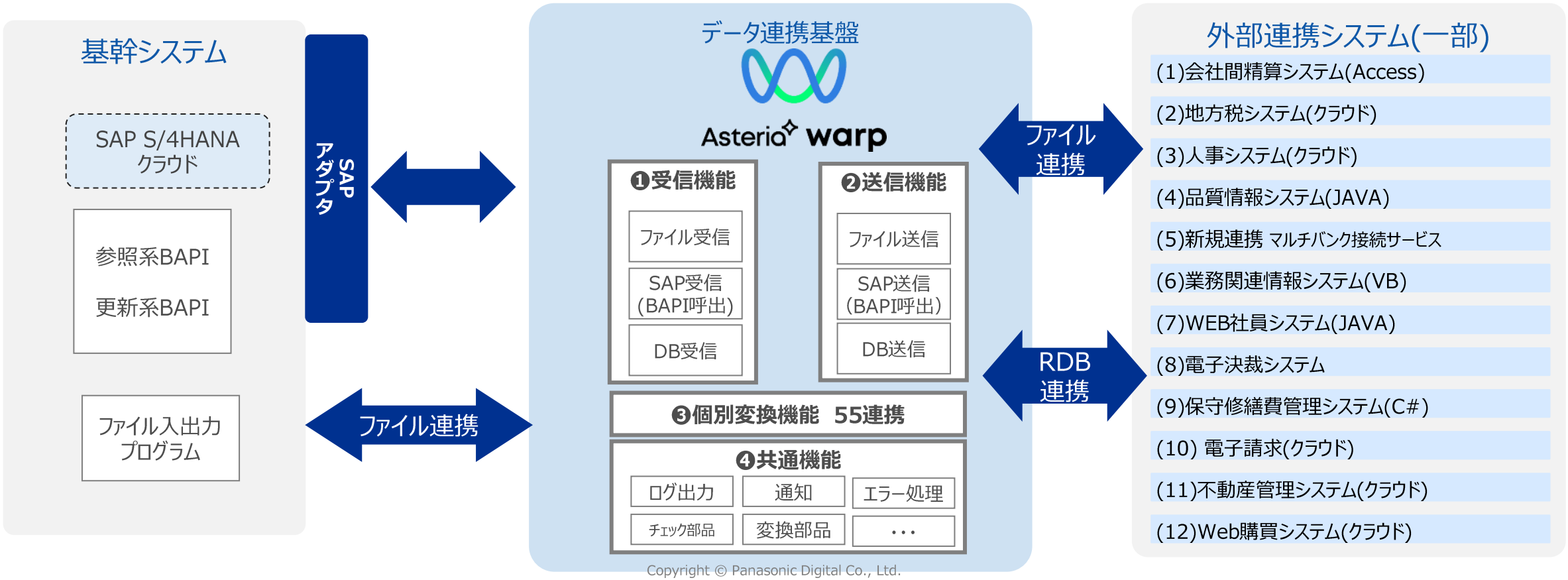
Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

Panasonic

2. 複数SaaS環境でも連携を一元管理し、安定稼働とコスト削減

ERPパッケージのバージョンアップに伴い、アドオン開発やベンダー間調整の工数が増大する課題がありました。すべての連携インターフェースをデータ連携ツール経由で統合し、複数のSaaS環境でも一元管理による安定稼働とコスト削減を実現しました。

業種	鉄道・運輸業　大手
連携システム	SAP S/4HANA、人事システム、多数
課題	ERPパッケージの利用に伴うアドオン工数の増大 マルチベンダー化に伴い、ベンダー間のコミュニケーションが複雑化

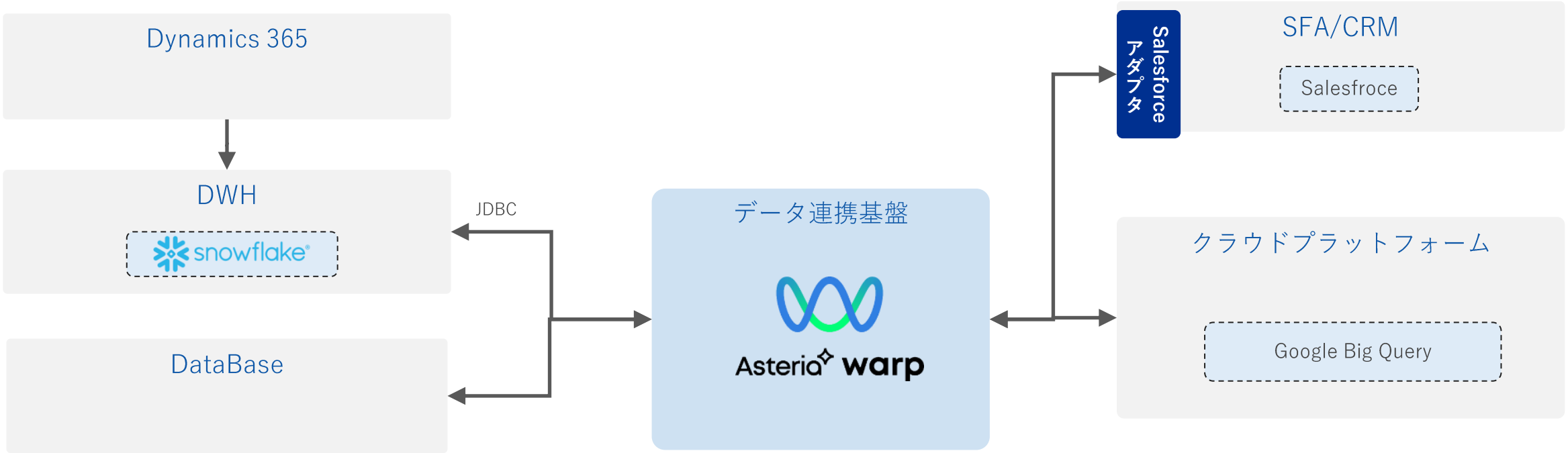


Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

3. 複雑化するシステム環境を突破するSaaS連携のスピード導入

複雑化した社内のシステムにより内製開発が困難な中、短期間で複数クラウドサービスとの連携が求められました。JDBCドライバーを活用したデータ連携により、スピーディな導入と安定したクラウド連携を実現しました。

業種	アパレル業（中堅）
連携システム	Salesforce、Snowflake、Google Big Query
課題	周辺システムが複雑化し内製化が出来なかった 短期間で複数のクラウドサービスとの連携が必要



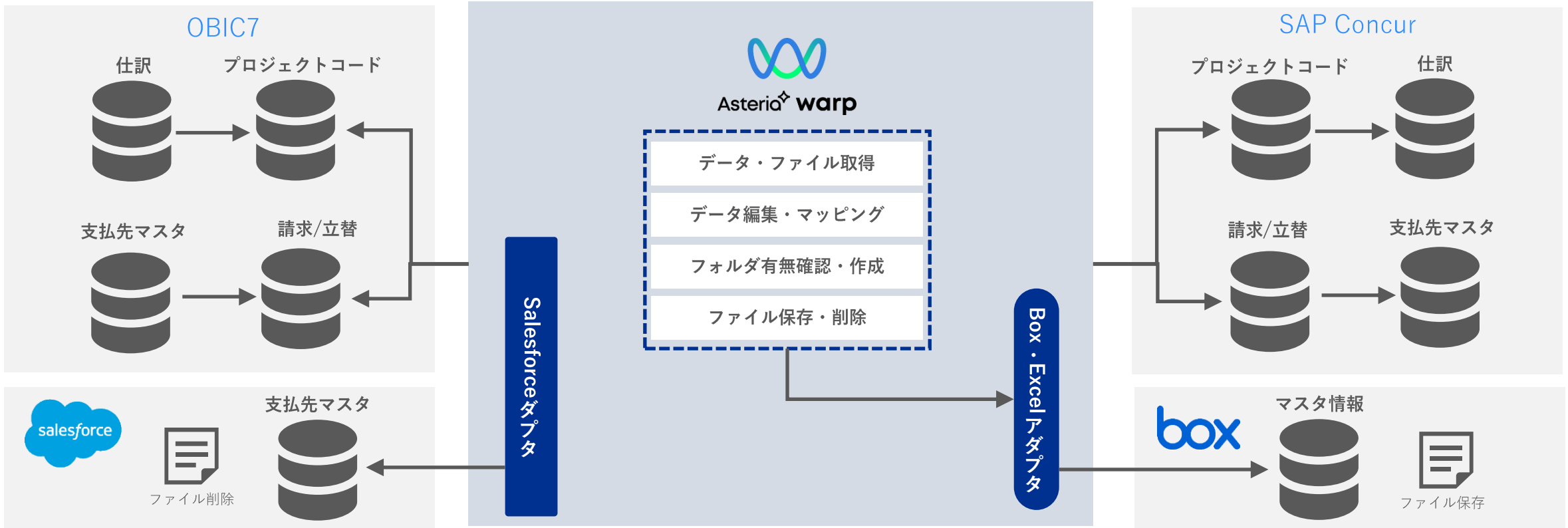
Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

Panasonic

4. システム連携で実現する業務効率化と入力ミス削減

複数システム間でデータ形式が異なるため、手動入力による負荷とミスが課題でした。
ASTERIA Warpを活用し、システム連携によるデータ収集と入力自動化を実現し、作業効率と精度を大幅に向上しました。

業種	建設業　大手
連携システム	OBIC7、SAP Concur、Salesforce、Box、Excel
課題	各システムで仕訳データの形式が異なり、 手動でのデータエントリが必要で作業負荷がかかっていた

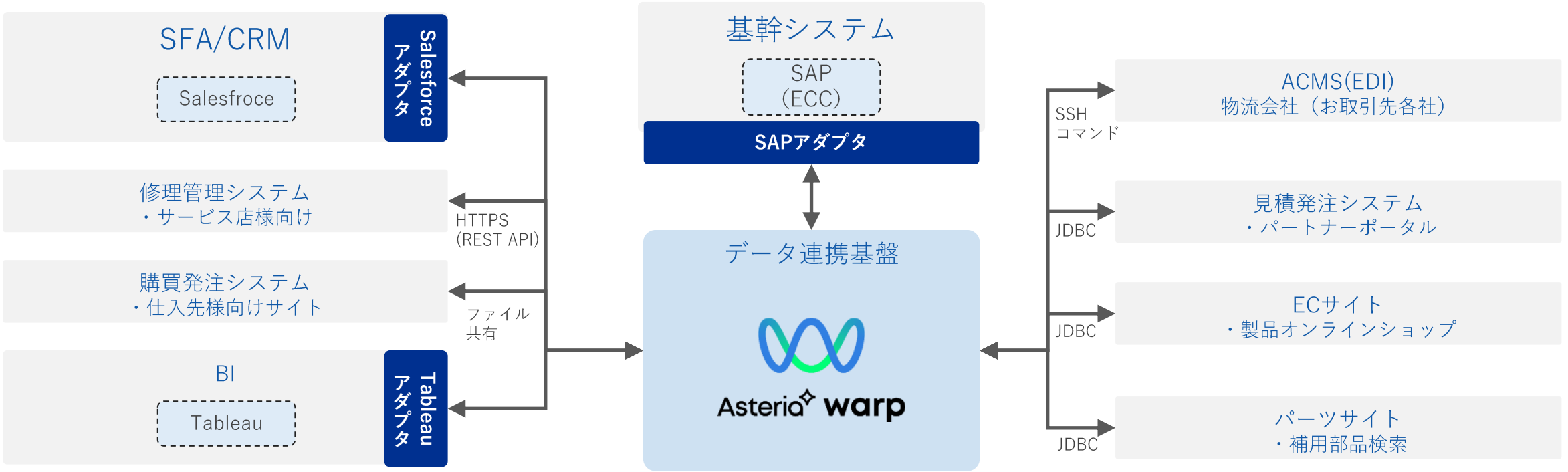


Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

5. ERPリプレイスに代わり、SaaS連携で業務効率化を実現

ERPリプレイスを検討するも、既存のSAPを継続しつつ複数クラウドサービスを導入する方針となりました。データ連携ツールを活用し、SAPとSalesforceなど周辺システムを統合することで、二重入力を排除し、短期間で業務効率化とペーパーレス化を実現しました。

業種	製造業（中堅）
連携システム	SAP、Salesforce、Tableau、ACMS(EDI)、個別システム
課題	ERP切替を検討したがマッチする仕組みがなかった SAP継続を検討するにあたり周辺システムとの連携が不可欠だった



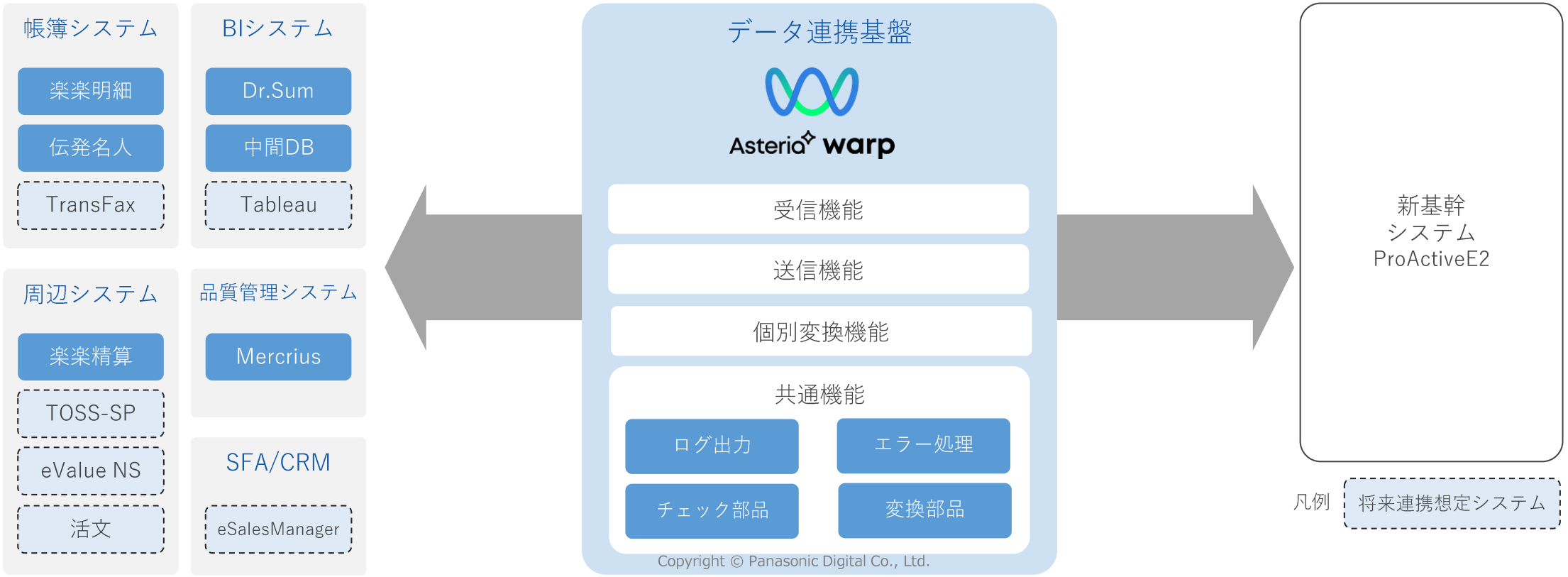
Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

Panasonic

4. ツールを活用したSaaS連携で開発工数を30%削減

クラウドとオンプレが混在する環境で、ERPと複数システムの連携に属人化と拡張性不足の課題がありました。
ASTERIA Warpを活用し、データ連携における処理の共通部品化で再利用性の高いSaaS連携基盤を構築し、開発工数を30％削減。
柔軟な業務拡張に対応可能な体制を実現しました。

業種	製造業　中堅
連携システム	ProActive、Tableau、eSalesManeger、JP1
課題	①開発業務の属人化により、担当者不在時の対応が困難 ②事業成長に伴う業務量の増加に対し、現行体制では柔軟な対応が難しい状況



Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

パナソニック デジタル株式会社はASTERIA Warpのマスターパートナー

サービスをつなぐASTERIA Warp＋パナソニック デジタル株式会社の独自のEAIサービスによりお客様のデータ連携を支援致します

①独自テンプレート/標準ドキュメント
により開発期間の短縮

②豊富な支援メニューにより
お客様の内製化も合わせて支援

③実績・ノウハウがあるSEにて
導入・開発・運用各フェーズでアドバイス

ASTERIA Warp Partner Award

弊社はASTERIA Warpマスターパートナーの内
ASTERIA Warp 販売実績 **No.1**

◆Partner of the Year 受賞（2015・2016・2019・2023・2026）
◆Excellent Partner 受賞（2013・2020・2021・2024・2025）
◆Project Award 受賞（2020・2021・2025）

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

※「ASTERIA Warp」はアステリア株式会社の製品です

会社概要

会社名	パナソニック デジタル株式会社
本社所在地	■大阪 〒530-0053　大阪市北区末広町2番40号 Panasonic XC　OSAKA TEL：06-6906-2801（代表） ■東京 〒104-0061　東京都中央区銀座8丁目21番1号 TEL： 03-5148-5634（代表）
代表取締役 社長執行役員	阿部 裕
設立年月日	1999年2月22日
事業内容	情報サービス
資本金	1,040百万円
関連会社	松下信息系統（上海）有限公司

お問い合わせはこちら

Copyright © Panasonic Digital Co., Ltd.

Panasonic